

脱 Excel でチーム成果を上げる案件管理ツール選び

グレーシティ株式会社 Enterprise Solutions 事業部 編

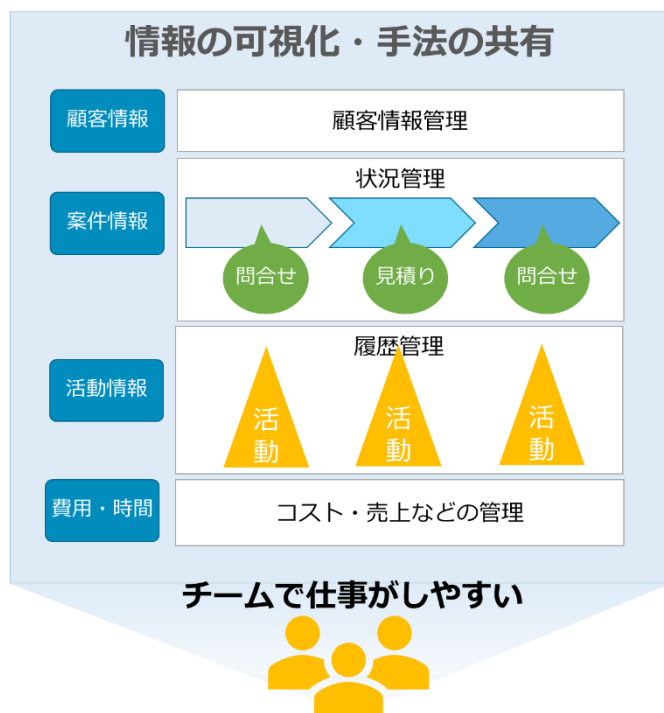
2018年4月 発行

さまざまな業務の案件管理に使われている Excel。Excel は情報を自由に書き込めることができ、集計もできる、グラフも作成できてとても便利ですが、案件管理ツールとして部門全体で利用しチームでの業務成果を上げるという観点では限界があります。本記事では、業務部門のメンバーが案件管理を Excel で行う場合と、サイボウズのグループウェア「kintone（キントーン）」で行う場合を比較し、Excel による案件管理方法でチーム業績を上げることについての課題を考察します。

優れた案件管理とは

案件管理の内容は業務ごとにさまざまですが基本的には、「案件に関する情報」「担当者に関する情報」「かかった時間や費用の管理」「進捗状況」「活動履歴」を業務に関わるメンバーに共有し、情報の可視化と手法の共有による作業分担を促す情報管理のことを指します。

案件管理で業務成果を出すためには活動を通じて刻々と変化していく情報を視覚化し、メンバーに迅速に共有することが大切です。「営業案件」の場合であれば、問い合わせが発生した、商談製品が変わった、先方担当者が変わったといった情報をメンバーがいつでも見えるようになれば、誰がいつどのような活動を行い、その結果として今その案件はどのような状況にあるのか、次は誰が何を行えばよいのかを推測でき、チーム全体での業績の向上を期待できます。

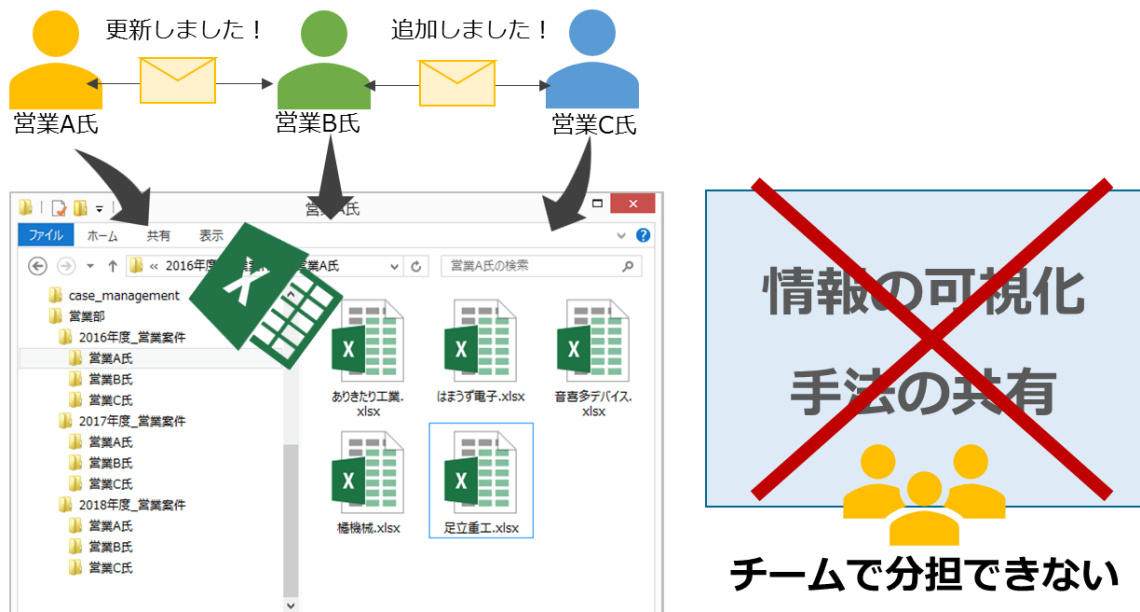


Excel による案件管理

では、このような営業案件管理を Excel で行う場合を考えてみましょう。1つの営業案件ごとに顧客情報や商談製品や金額、履歴が入力された Excel ファイルに情報を登録して、そのファイルを共有したとしましょう。ある取引先の進行中商談を知りたい場合は、該当するファイルを探して中を確認しなければ

なりません、たくさんの Excel ファイルが共有されていたら目的の情報を探すだけでも苦労します。

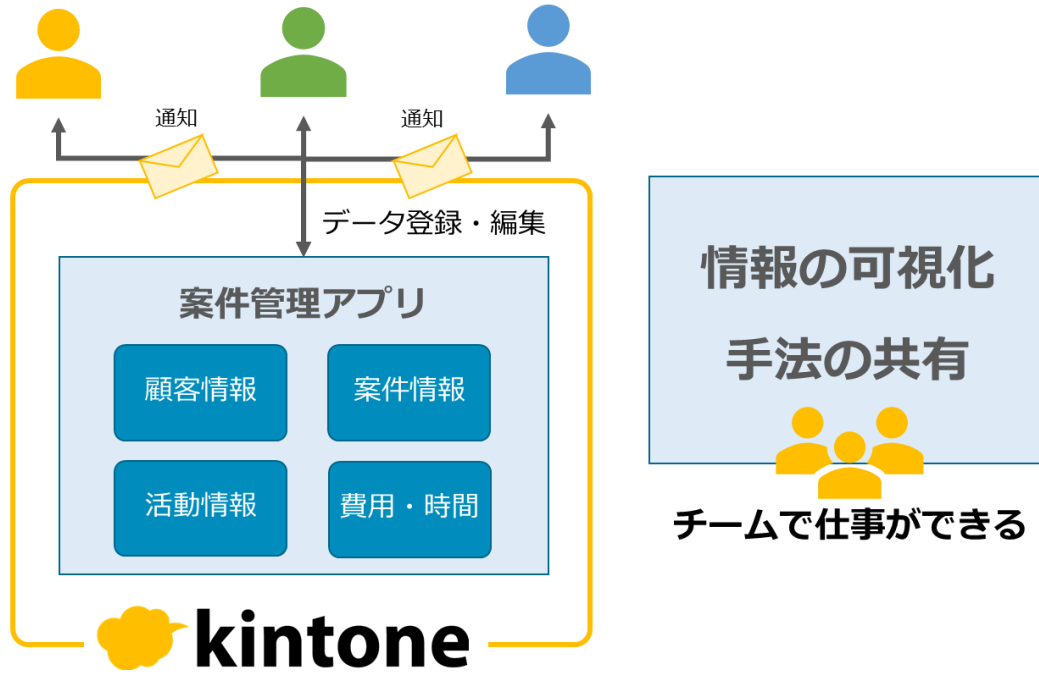
また、前述のとおり案件管理では刻々と変化する状況に素早く対応することが重要ですが、状況が変わった時に担当営業が Excel ファイルの中身を書き換えたとしても誰も気づきません。メールなどでお知らせするなどしてメンバーに周知するという 2 段階の作業になります。ファイルに書かれた個々の情報の質が高いものだったとしても、情報の可視化やチームメンバーへの迅速な共有ができなければ、業務成果は望めません。Excel は自由度も高く多くの機能があるので個人が作業を行うには良いツールですがチームでの協業には不向きです。この情報共有性とリアルタイム性の乏しさが脱 Excel を検討する際のポイントになるようです。



kintone（キントーン）による案件管理

一方グループウェアの kintone（キントーン）を使った案件管理はどうなるのか見てみましょう。kintone は Excel と同じように項目を自由に登録できるアプリ作成機能（データベース）がありますので、営業案件の場合は顧客情報や案件情報、活動履歴、問い合わせ情報を持ったアプリを作成できます。案件データの登録と編集、削除はすべてアプリ上で行います。アプリにアクセスする権限があれば誰でも案件の内容を見たり情報を追加したり変更したりすることができます。変更したデータはすぐに保存され、いつだれが何を変更したのか履歴が自動的に残ります。

これに加え kintone には個々の案件データに対してメンバー間でディスカッションできるメッセージ機能が組み込まれています。メッセージが書き込まれると、アプリにログインしていなくてもメンバーにメールで通知されます。情報の内容は Excel による案件管理と同じものだとすれば、kintone による管理は情報の視覚化と共有性が Excel よりも優れている分チームとしての業務成果を出しやすいといえます。



▼ kintone の画面

顧客情報

取引先コード: 68 | 会社名: イビシ産業 (株) | 部署名: 業務改革室 | 先方担当者: 小田桐 大地

TEL: 082-401-8422 | FAX: 03-6835-xxxx | メールアドレス: d-odagiri@sample.com | ユーザー数: 610

案件情報

案件担当者名: | 見込み時期: 2018-11-01 | 確度: C

活動履歴

| 活動日 | 活動内容 | メモ | 添付ファイル |
|------------|-------|---|--------|
| 2018-01-30 | 訪問/来訪 | 業務改革室の立ち上げに伴い情報交換のご相談があり弊社。本部長と共に対応しました。 | |
| 2018-02-15 | 訪問/来訪 | お客様社内にて実施された業務改革ワークショップに参加。 | |
| 2018-03-08 | セミナー | 具体的な操作方法を学びたいということで、kintoneハンズオンセミナーに参加いただきました。 | |

入力項目を自由に設定できる

データに対するメッセージ機能

データの変更履歴

変更履歴

最新のバージョンを表示する

2: 大崎龍之介 2018-03-29 9:05
確度: 「C」から「B」に変更されました。
👁️ 変更箇所を表示する
🔄 この前のバージョンに戻す

最初のバージョンの内容を表示する

案件管理におけるチームの生産性と個人の生産性

案件管理により、チームで成果を出すには情報の可視化と迅速な共有が大切ですが、チームメンバー個々の生産性はどうでしょう？ kintone に限らずグループウェアを使っている現場担当者の声として代表的なのが入力・編集操作への不満です。日本の企業では Excel による案件管理が定着したため Excel のような複数データの一括編集やフィルタリングなどの操作性を求める声が多いのは周知の事実です。案件管理では状況が変化すると活動履歴を入力し、進捗状況を変更しなければなりませんので、そのたびに案件を検索して詳細画面を開き、データ編集を繰り返すのは実質的な作業時間が増大します。この点においてセルコピーやフィルタリング、条件付き書式などの機能が使える Excel のほうが個人の生産性は高いといえます。

一般的なパッケージ製品のデータ更新作業

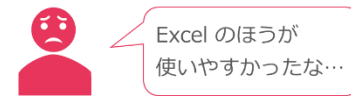


Excelのデータ更新作業



強力な入力支援機能と視認性

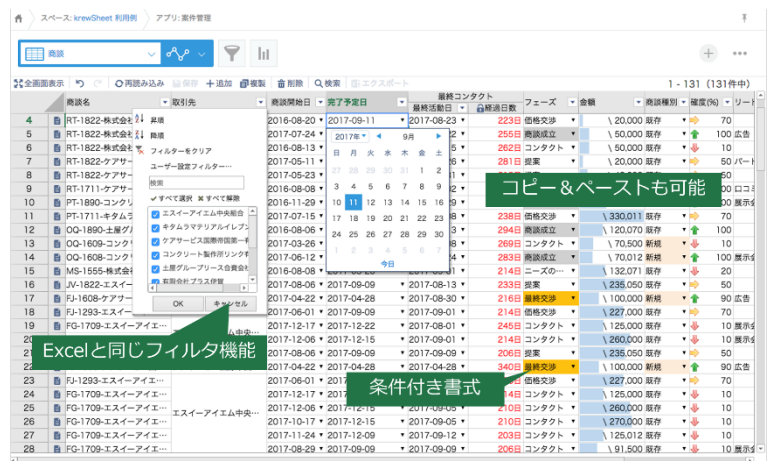
- ・フィルタリング
- ・条件付き書式
- ・コピー＆ペースト



kintone + krewSheet (クルー) による案件管理

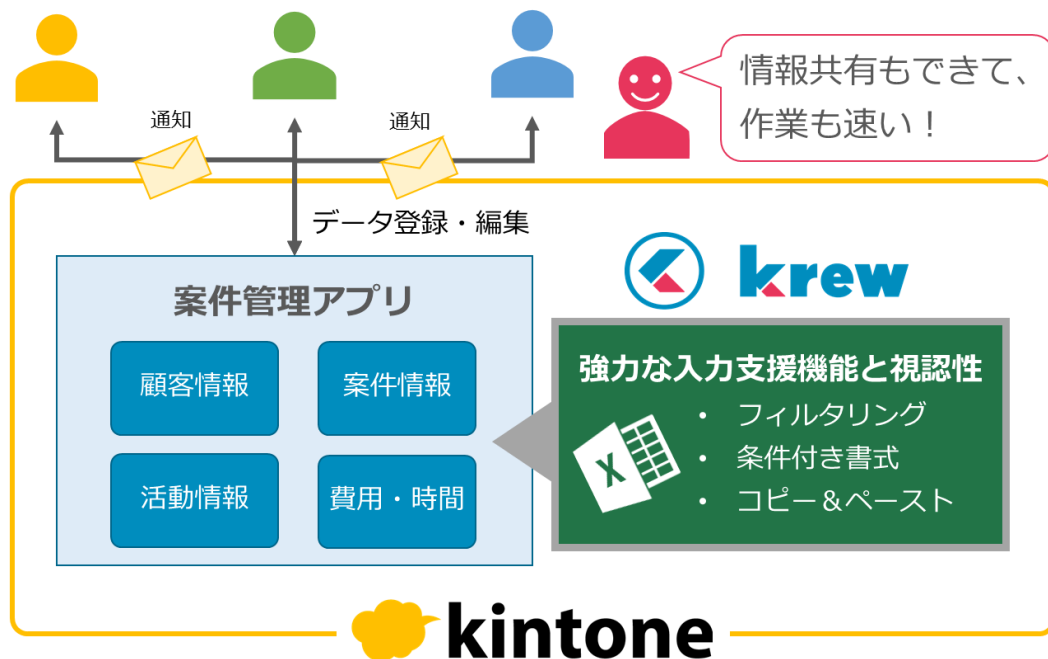
実際、個人の生産性と情報共有性や可視化によるチームの生産性を秤にかけ、Excel を選ぶ（選んだ）という例はいくつもあります。これは業務の内容や管理したい情報の持ち方による判断なのでどちらが良いとは言えません。しかし、kintone プラグインの「krewSheet (クルーシート)」で kintone を利用しつつ Excel の入力操作性を再現するという手段もあります。

krewSheet は kintone の一覧を Excel のような操作性の一覧にできるプラグインです。1 案件を Excel の 1 行のように表示し、各項目の値がセルに入ります。データの追加や削除は行の挿入、行の削除といった Excel での操作とほぼ同じ。見出し列上でのデータフィルタや検索・置き換え、条件付き書式といった機能も Excel とほとんど同じです。データは kintone 上にあるのでメッセージ機能や通知機能、データ管理機能などはすべて kintone が行います。情報が更新される頻度が高い、個人の作業量が多いといった案件管理の場合は特に効果が出やすい方法です。



脱 Excel でチーム成果を上げる案件管理のまとめ

繰り返しになりますが、案件管理業務で重要なことは、案件情報や状況の変化にチームメンバーが即応できることです。そのためには「情報の可視化」と「迅速な情報共有」ができる仕組みが必要です。Excel ファイルによる共有では難しいこうした仕組みが、kintone にはあらかじめ組み込まれているため、チームでの協業に向いています。一方、Excel の強力な入力支援や視認性を高める機能はメンバー個々の作業効率を高めます。kintone に Excel の機能を付与する krewSheet プラグインを利用することで、チームでの生産性と個人の生産性の両方を高めることが可能になりますので、Excel 業務に課題を感じたときにはこの選択肢をご検討ください。



▼ kintone と krewSheet を利用した案件管理のサンプルデモ

<https://krew.grapecity.com/use-case/>

▼ krewSheet30 日無料版の申し込み

<https://krew.grapecity.com/trial/>

krew に関するお問い合わせ先

グレースシティ株式会社 Enterprise Solutions 事業部

専用お問い合わせフォーム

<https://krew.grapecity.com/contact/>

